

市民のニーズをかなえる 生涯学習施設の内容と望ましい設置場所は？

～ 大切に考えている視点 ～

■ 問合せ 生涯学習課社会教育係（内線 2214・2213）

これまでお伝えしてきたとおり、検討を進めている生涯学習施設は、従来の公民館や図書館の利用者に加え、子ども・子育て世代をターゲットにしつつ、多世代が集い、交流することができる施設を理想としています。この理想を実現するためには、一定の広さを持つ敷地が必要となります。



それでは、その最適な場所は一体どこなのでしょう？

視点 1 幅広い市民から寄せられる大きな期待

新たな生涯学習施設の建設は、これまで多くの市民の皆さまから寄せられてきたご要望にお応えべく構想してきたものです。公民館・図書館・交流スペースを備えた複合施設については、子育て世代をはじめ、若者から高齢者まで幅広い世代から期待が寄せられています。



視点 2 求められる広さとは…

まず、①理想とする施設は視点 1 を踏まえた施設内容に基づき、②必要な敷地の広さを求めて現実的にそれを確保できる場所を考えていくことが必要で、両者は切り離さずに一緒に捉えていかなければなりません。

《理想とする施設のイメージについて》

胎内市生涯学習施設整備基本構想（令和 5 年 3 月）として取りまとめ、胎内市議会に説明してきているほか、このような施設を整備するという基本的な考え方については、説明会等の場で説明に努めてきました。パブリックコメント（意見募集）では、確かに否定的な意見も寄せられていましたが、これまで開催してきた説明会や座談会においては決してそのような意見ばかりではなく、前向きに、実現を願う意見も多くいただけてまいりました。

また、令和 7 年 3 月に開催した令和元年当時の胎内市生涯学習施設整備検討委員会の委員やワークショップ参加者に対する説明会（報告会）においては、その終了後に実施した参加者からの聴き取りを含めると、基本計画（案）（嘉平山を含む）に対して、概ね 7 割の方から賛同をいただいております。

視点 3 すべての地域の人たちが利用する施設



歩いて行ける場所が良いというご意見をいただいておりますが、すべての人が歩いて行ける場所は現実的には存在しないため、個々人ではなく、すべての地域の人たちにとっての最適地を考えていかなければなりません。

なお、新たな施設が中心市街地以外に建設する場合には、既存の中央公民館や図書館の機能（役割）を維持するため、既存施設の活用も検討して維持していく方針です。

視点 4 長期的・多角的視点も忘れない

旧中条体育館の近くが良いとのご意見もいただいております。しかし、現在の中央公民館や中条中学校、旧中条体育館を含むエリアは今後決めていく統合中学校の建設候補地にもなり得ることから、そのことも考慮に入れながら考えていかなければなりません。



生涯学習施設に関する 市民説明会を開催 しました

7月27日、中央公民館と産業文化会館の2会場で、生涯学習施設に係る市民説明会を開催し、あわせて28名の方にご参加いただきました。



冒頭、市長からは次のような説明がありました。

- 1 生涯学習施設の建設予定地は、まだ決まっていないこと。**
- 2 今後、有識者や施設利用者、子育て世代、公募委員などで構成する審議会を設置し、諮問・答申を経て最終的に建設予定地を決定していくこと。**
- 3 生涯学習施設を中心市街地以外に建設する場合には、既存の中央公民館や図書館の機能（役割）を維持するため、既存施設の活用も検討していくこと。**

続いて事務局からは、先日公表したパブリックコメントの実施状況や、今後のスケジュールについて説明しました。

参加者からは、「歩いて行ける場所がよい」とのご意見や、「建設候補地についてアンケートを実施すべき」、「施設の具体的なイメージを知りたい」といったご要望が寄せられました。

市では、こうした皆さまからのご意見・ご要望を参考にしながら、多くの方に親しまれ、喜んでいただける生涯学習施設の実現を目指してまいります。

今後の流れ

今後、基本計画（案）について修正すべきは修正しながら、更には必要に応じてパブリックコメントの実施を考えています。

特にご意見の多かった建設候補地は、審議会等の検討を経て、その答申を踏まえて最終的に決定していく方針です。

